



あかるく元気な子 だれにも親切な子 しつかり考える子 ことばを大切にする子



ドアを大きく開け放そう！

広い世界へ

作詞：高木アキ子 作曲：橋本祥路

ぼくらの前にはドアがある いろんなドアが いつもある
ドアを 大きく 開け放そう 広い世界へ 出ていこう
ドアの向こうの 輝きを 自分のものに するために
ドアの向こうの 輝きを みんなのものに するために
ぼくら 青い実 ぼくら 赤い火 雨に打たれ 風に吹かれ
手と手をつなぎ 心をつなぎ 歌を 歌を 歌いながら
ぼくらの前にはドアがある いろんなドアが いつもある
ドアを 大きく 開け放そう 広い世界へ 出ていこう



○これは、本校3～6年生の児童が、8日（水）の五條市立小中学校音楽会で合唱した歌の歌詞です。本校児童はまだまだ未熟な青い実かもしれませんが、勇気や希望という赤く燃える心をもっている元気な「あだっ子」です。なかまと協力して励まし合いながら、大きな未来や夢に向かって自分の力を思い切り開放してほしいと思います。「めんどくさい」「おそろしい」「無理～～」「どうせ自分なんか…」と否定的な言葉ばかりを並べていないで、思い切って一歩前へ踏み出してみることが大切です。そうすることで、きっと新たな世界が目の前に広がるはずです。



○音楽会後の子どもたちの感想を一部紹介します。

- ・大きな声で歌えて、すがすがしい気持ちになりました。
- ・練習の成果を存分に出して歌えました。今までで一番いい音楽会でした。
- ・音楽を演奏すると心が通じ合うということを学びました。これからは音楽が好きでいられそうです。
- ・他の小学校の人たちに見られて恥ずかしかったけど、みんなでがんばれた気がしました。
- ・はじめは「ぜったい無理！」と思っていたけど、今はかんたんと思えるようになりました。「ぜったい無理！」と言っていたのを取り消したいぐらい楽しかったです。
- ・練習しているときは、自分の心のドアを開けられていない感じでした。でも、本番では自分の心のドアを開けられたと思います。だから、これからは「自分から行動する」「自分から責任を果たす」というようなことをがんばっていきたいです。



そして、子どもたちはもう次のドアに手をかけ、大きく開け放そうとしています。